

### リコール実施のご案内

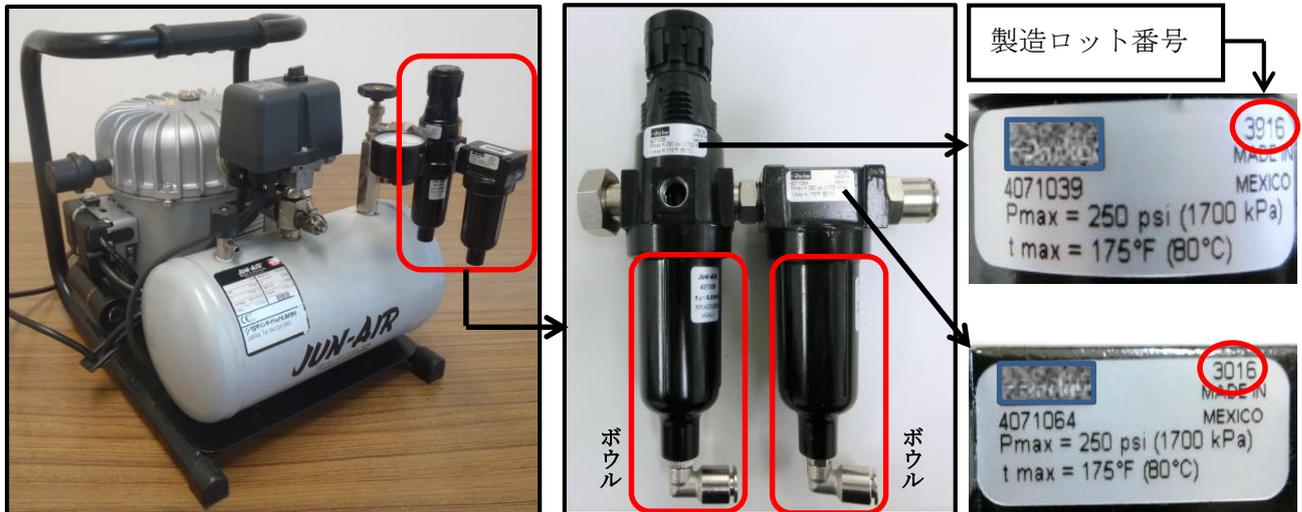
拝啓、お客様に於かれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は弊社販売製品に格別のお引き立てを賜り誠に有り難うございます。  
さて今般、Gast Manufacturing, Inc.製エアークンプレッサ（JUN-AIR ブランド）の一部に使用されておりますフィルタ製品において極めて少数ながら金属製ボウルが破裂する不具合が確認されました。  
この破裂による人的被害や設備被害は発生しておりませんが、製造元と協議し、お客様の安全のために対象品のフィルタ製品につきましては、弊社にてボウルの無償交換をさせて頂くリコール対応の決断をいたしました。  
なお、既にホームページ等でもご案内の通り 2022 年 3 月末を以て弊社は JUN-AIR ブランドの製品販売及びメンテナンスに関してはジャパンマシナリー株式会社様へ事業譲渡させていただいておりますが、本件のリコール対応に関しましては、弊社が責任を持って対応させていただきます。  
この度はお客様に多大なるご迷惑及びご心配をお掛けすることになり誠に申し訳ございません。  
どうかリコール対応の趣旨と必要性をご理解いただき、お客様のご協力をお願い申し上げます。

敬具

### リコール告知内容

#### 1. リコール対象製品群、製造時期、販売期間

- ・リコール対象製品群：Gast Manufacturing, Inc.製 JUN-AIR コンプレッサに組み付けられた各種  
フィルタ製品
  - ① 5 $\mu$ m フィルタレギュレータ（マニュアルドレン式）：パーツ No.4071030
  - ② 5 $\mu$ m フィルタレギュレータ（オートドレン式）：パーツ No.4071039
  - ③ 0.01 $\mu$ m フィルタ（マニュアルドレン式）：パーツ No.4071055
  - ④ 0.01 $\mu$ m フィルタ（オートドレン式）：パーツ No.4071064
  - ⑤ 5 $\mu$ m フィルタ（オートドレン式）：パーツ No.4071010
  - ⑥ 5 $\mu$ m フィルタ（オートドレン式）：パーツ No.4071009（Model 87R-4PD 限定仕様）
- ・リコール対象品製造期間（製造ロット番号）  
フィルタメーカーにて 2013 年第 12 週（製造ロット番号：1213）～2017 年第 14 週（製造ロット番号：1417）に製造された各種フィルタ製品。  
※フィルタ製品の製造ロット番号が『ABCD』の場合、20CD 年第 AB 週の製造となります。



フィルタ製品が組み付けられた JUN-AIR コンプレッサ (一例)  
フィルタのボウルはマニュアルドレン式

フィルタ製品 (一例)  
左: フィルタレギュレータ (オートドレン式)  
右: フィルタ (オートドレン式)

フィルタ製品铭板

#### ・販売期間

当社にて 2013 年 8 月から 2019 年 11 月までに販売した JUN-AIR コンプレッサ(下記該当型式)に組み込まれている可能性があります。

#### 【JUN-AIR コンプレッサ該当型式】

3-4、6-4、6-15、6-25、12-25

OF301-4B、OF302-4B、OF302-15B、OF302-25B、OF302-4M、OF302-25M、87R-4P、87R-4PD

注 1) 上記型式は空気圧タンクまたはキャビネットに貼り付けられた铭板に記載されています。

注 2) コンプレッサの外観形状は 4P の『リコール対象費 JUN-AIR コンプレッサの外観イメージ』を参照願います。

#### 2. リコール実施主体

クロダイインターナショナル株式会社

#### 3. リコール実施に至った経緯

3 年以上使用したフィルタのボウルに異常 (亀裂、膨張、破裂) のあるものが市場で複数発見されたため。幸いにしていずれの異常も人的被害や設備被害はなく重大製品事故には至っておりませんが、一般消費者様を含むご使用者様において今後金属製のボウルの破裂による重大製品事故が発生する可能性があります。

#### 4. 危害の内容

ご使用者様がフィルタボウルに接近、触るまたは近傍で目視の際にボウルが破裂した場合、製品重大事故に至る可能性があります。

#### 5. 危害が発生した場合のその程度

裂傷、視力障害、聴力障害

## 6. リコール対象製品を使用していることが想定されるご使用者様

企業の従業員、公的機関の従事者、一般消費者

## 7. ご使用者様に対する注意喚起、危機回避方法

ご使用者様へは販売ルート（代理店や販売会社）を通じて、または弊社から直接の依頼によりフィルタのロット No.を確認させていただきますので、リコール対象品の場合（ロット No.が確認できない場合も含む）は使用を中止していただき、速やかにリコール対象品であることをお伝えください。

やむを得ず使用を継続する場合は、応急処置としてフィルタボウルが隠れるようにダンボールや衝立等で簡易的にコンプレッサを囲むようにして人的被害や設備被害の発生を極力回避していただき、コンプレッサに必要な以上に近づかないようお願いいたします。

応急処置の詳しい方法につきましては5Pの『**応急処置の方法**』を参照願います。

## 8. 弊社の対応

リコール対象品のフィルタ製品はフィルタボウルを問題の無い新品のフィルタボウルに無償交換させていただきます。

作業時間はコンプレッサの機種にもよりますが30分前後となります。

弊社からリコール対象フィルタが組み込まれたと推定されるコンプレッサについては販売ルート（代理店や販売会社）またはご使用者様へ直接『リコール実施のご案内』と『リコール対象品調査シート』を送付させていただきます。

対象フィルタ製品のご使用者様への注意喚起を徹底させていただき、ご使用者様の情報提供のご協力を得ながら弊社はリコール対象品調査シートから速やかにリコール対象品使用者リストを作成し、フィルタボウルの交換作業委託業者へ作業を委託します。

ご使用者様へは交換作業委託会社（株式会社 D-Tieco）の指定業者よりフィルタボウルの交換作業訪問日時について事前に確認の電話をさせていただきます。

ご使用者様が特定できない場合や、リストから漏れた不特定多数のご使用者様については弊社ホームページでもリコール実施情報を開示し、対象フィルタ製品のご使用者様への注意喚起を徹底させていただき、下記弊社コールセンターを開設させていただきます。

## 9. 対象者（ご使用者様）がリコール実施主体とコミュニケーションをとる方法

リコール対象製品を保有していることを確認できたご使用者様が販売ルート（代理店や販売会社）へ連絡する以外に、リコールに関して当社へ直接問い合わせを希望する場合は、下記弊社コールセンターへご連絡ください。

クロダイインターナショナル株式会社

JUN-AIR コンプレッサ フィルタボウル無償交換お客様コールセンター

電話番号 0120-074-072

担当者：技術・品質保証担当 菊池 誠

連絡時間 9:00~17:00（土、日、祝祭日を除く）

メールアドレス [pf\\_recall@kuroda-precision.co.jp](mailto:pf_recall@kuroda-precision.co.jp)

以上

## リコール対象品 JUN-AIR コンプレッサの外観イメージ

 <p><b>3-4</b> H×W×L=342×333×384mm</p>	 <p><b>6-4</b> H×W×L=342×333×384mm</p>	
 <p><b>6-15</b> H×W×L=485×378×378mm</p>	 <p><b>6-25</b> H×W×L=555×378×378mm</p>	 <p><b>12-25</b> H×W×L=595×410×425mm</p>
 <p><b>OF301-4B</b> H×W×L=350×310×390mm</p>	 <p><b>OF302-4B</b> H×W×L=350×320×390mm</p>	
 <p><b>OF302-15B</b> H×W×L=530×380×380mm</p>	 <p><b>OF302-25B</b> H×W×L=610×380×380mm</p>	 <p><b>サイレントボックス SB-1</b> H×W×L =625×446×446mm</p> <p>※ボックスの中に OF302-15B/25B を収納</p>
 <p><b>OF302-4M</b> H×W×L =420×480×573mm</p>	 <p><b>OF302-25M</b> H×W×L =857×460×570mm</p>	 <p><b>87R-4P 87R-4PD</b> H×W×L =444×407×520mm</p>

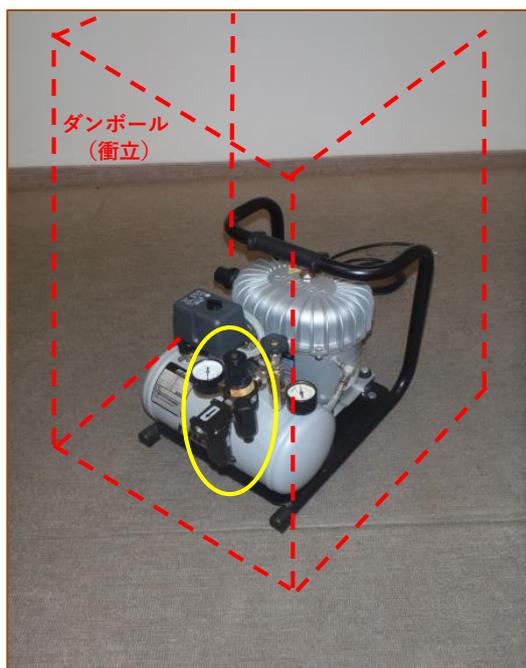
## 応急処置の方法

2023年10月より弊社にて実施の Gast Manufacturing, Inc.製 JUN-AIR コンプレッサに組み付けられたフィルタ製品のリコール（ボウルの無償交換）においてリコール対象品であることが判明した場合は直ちに使用を中止してタンク及び使用機器及び接続配管の圧力を全て排出してください。

**やむを得ずコンプレッサの使用を継続される場合は、必ず下記の方法によって応急処置を実施し、コンプレッサ運転開始後はコンプレッサ及び取り付けられたフィルタ製品には不用意に接近しないよう注意喚起の表示をお願いいたします。**

### 応急処置方法

コンプレッサの高さの2倍以上の高さのダンボールまたは衝立でコンプレッサの側面をコの字型に囲ってください。  
コンプレッサの換気のため、フィルタ製品（写真丸印）から一番離れた側面を開放してください。



### 注意事項

- 1) コンプレッサの温度上昇による運転停止を避けるために、コンプレッサの上面側は覆わないでください。
- 2) コンプレッサの稼働率が高い場合は、フィルタ製品を中心に『への字型』に囲ってください。
- 3) 通常よりもコンプレッサの温度が高い場合は、開放した側面から扇風機等でコンプレッサに風を送り換気を行ってください。
- 4) コンプレッサの設置場所を移動する場合は、事故防止のため必ずコンプレッサを停止させ、全ての圧力を排出してください。